

合格を勝ち取った生徒の取り組み

郡山高校（郡山第5中）

この生徒は夏ごろの入塾でした。郡山高校の判定は「E判定」でした。そこから、数学、社会、理科の何をいつまでに学習するか指示を出していきました。日々の生活リズムとマッチするように予定を立てていきました。自習の時でもやりっぱなしにせず、やる場所を指示し、丸付けは我々でやり、弱点をチェックして、また課題を出していきました。毎日22時まで自習をしていき、冬休みは14時～22時まで残って学習していきました。そして、1月の模試では見事「A判定」を勝ち取りました。入試前日に熱を出すアクシデントもありましたが、それにも負けないぐらいの勉強の土台と、自信があったので、見事合格を勝ち取りました。

本当におめでとうございます！！！！

郡山高校（郡山第5中）

この生徒は、1期選抜で合格を勝ち取りました。日々の塾での授業とその復習、そして、毎日の自習で勉強の週間をつけていきました。部活関係のこともあったのでそれと両立していきました。リズムを壊さず続けていき、入塾してからの最初のテストで大幅に得点をUPさせ、すべて80点を超えていきました。それで評定も上がっていき、堂々とI期選抜に立ち向かう力を付けました。冬休みも14時～22時まで自習し、1月は5教科の勉強、スポーツ、推薦の面接関係のこと全てを両立して万全の準備をしていきました。

本当におめでとうございます！！！！

奈良教育大学（安積高校）

高校生は映像授業なので、何をいつまでに終わらせるか指示を出しました。学校でも課外やそこで出された課題もあるので、それとのバランスを見ながら、本人で予定を立てて、どうしたらしっかり消化できるか考えていました。模試の前なども映像授業を見たりして、不安な箇所を克服していきました。

本当におめでとうございました！！！！

東北学院大学（安積黎明高校）

この生徒は10月まで部活動も一生懸命頑張っている生徒でした。限られた時間の中で何をやるべきか、毎週一週間の計画を立て、毎日どこがだめだったのか、どうしたら改善できるか自分で考えていました。部活動を引退した後は、勉強量をさらに増やし一気に集中して学習していきました。私自身感心したことは、英単語など覚える内容が多く、しかし、基礎の部分であり、後回しにしてしまうと厄介なものも、毎朝通学前や寝る前にしっかり学習していることでした。部活でも大会前など集中しなければならないときも、勉強面も集中し両立していったことが合格につながっていったと思います。

本当におめでとうございました！！！！

明海大学（KTC中央高等学院）

この生徒は高3の時の9月に入塾しました。ここから怒涛の日々が始まりました。大学入試は土台をしっかりとさせないとなかなか点数に結び付きません。そのため、2月までの6か月間基礎づくりを徹底していきました。まず何をいつまでに終わらせるか、何をいつからやるか、過去問をいつからやるか伝え、毎週やることをしっかり計画を立てていきました。生徒もしっかりそれに食らいつき最後の最後まであきらめずに走り続けました。合格発表の時は我々も心臓がバクバクでしたが、見事合格を勝ち取り電話をいただきました。本人の笑顔を見たときとても感動しました。

本当におめでとうございました！！！！